

地域の現状を学ぶ 「ストップリニア中央新幹線！」 学習会を開催しました

5月31日、東海労名古屋地本は名古屋市内において『地域の現状を学ぶ「ストップリニア中央新幹線！」学習会』を開催しました。』

学習会には、名古屋地本の組合員、OBはもとより千葉、東京、静岡、関西方面からも多くの参加者がありました。学習会には、東濃リニアを考える会の原重雄代表とリニアを考える愛知県連絡会の代表であり春日井リニア新幹線を問う会の川本正彦事務局長のお二人から講演を受けてディスカッションを行ってきました。



【松山委員長挨拶】

原さんから川本さんを紹介していただき、春日井市の水涸れの現場をこの目で見た。影響は相当なものだと実感した。

今日の学習会を通じて地域の現状を把握し、地域の皆さんと連携を深め、リニア反対運動の新たなスタートとしましょう。



東濃リニアを考える会 原代表



春日井リニア新幹線を問う会 川本事務局長

原さんからは、「ストップ・リニア！訴訟」の経過報告、岐阜県内ルート・施設の工事状況及び発生残土が与える影響、環境保全問題などの報告を受けました。

川本さんからは、深刻化する岐阜県大湫町の水涸れと地盤沈下、春日井市明知町において発破振動による地下水脈の影響での水涸れ、更には今後予想される地盤沈下や陥没事故など多岐にわたる説明を受け、あらためてリニア中央新幹線建設が地域住民の皆さんに多大な迷惑や不安を与えているという深刻さが伝わりました。今後も更にリニア反対運動を強化しよう！